

コンセプト: 私の作品のモチーフは人体です。人の体の曲線や形だけでなく、臓器や細胞とその構成の仕組みも、私の作品制作の参考になっています。一つ一つの細胞が臓器を形成し、一個一個の臓器は人を組成します。一人一人の集まりは集団になり集落ができ、いくつかの集落は街になり、複数の街は都市になります。私はこのようなマイクロとマイクロの考え方をを用いて、シルクスクリーンという複製が素速くできる版画技法を利用し、名前のない機械やどこにあるかわからない都市を作品を通して作り上げました。

技法について: 一点の作品を作るために、私は30から60個の版を作ります。その一つ一つの版は作品を形成するためのパーツや部品とも言えるでしょう。繰り返す版画の技法を利用し、版の角度やインクの色を変えながら、少しずつ私の作品の世界を、パズルのよう一枚一枚足していきます。同じのパーツは違う所で違う役割を果たし、その反覆作業の中で作品に描かれた自分が想像している未来世界が広がります。私にとって自分の制作は、限りある版/パーツを繰り返し印刷しながら、脳内の集合体を作り出すという過程です。

ステートメント: 私は作品を作りながら、未来世界の形を思い続けています。作品に描かれていた世界は、過去、現在、未来のあらゆる姿を重ねて、分解、構成、再分解、再構成でできた集合体です。時空変化の化学反応を経て、過去は昔の古いものだけではなく、未来も斬新な新しいものばかりではありません。「現代的」なものは、時間と空間の影響で何処でも存在しているかもしれません。私の中で一番の例は軍艦島(端島)です。炭坑として活躍していた端島は、当時の日本では人口が一番密集して、最新家電や流行り物ばかりの街でしたが、時代の流れによって炭鉱の需要が減るとともに、閉鎖されてしまいました。ですが、その端島は現在も未だにとある形で、引き続き未来の姿を提示しています。我々は、端島に残された痕跡に頼って当時の最先端にたどり着き、そしてまた新たなものを作り出し、さらなる別の人々達の痕跡になります。このような強烈に過去、現在と未来を結びつけるものが、我々の生活の中にたくさん存在します。しかし、気づいていない人もたくさんいます。私の作品は観者達にその痕跡と新たなものを作り出し、掘り出す誘因になれると、一番嬉しいことと思っています。

我的創作主題源自於人體。不單只是人體的曲線或是形狀，臟器或細胞的構成方式也是我製作作品時的參考。一顆一顆的細胞形成臟器，一個一個的臟器組成人。一人一人聚集而成集團進而成為部落，數個部落變成城鎮，好幾個城鎮演變為都市。我利用可以快速複製圖像的版畫技法、絹印，來製作這先無名的機器或是不知坐落於何方的都市。

我為了一件作品，大概會製作 30 到 60 個的版。對我來說這一個一個的版是構成作品用的一部分或是零件。反覆使用版畫的印刷技法，一邊改變版的角度或是更換印墨的顏色，並一邊一點一滴的構成我的作品世界，彷彿拚上一片一片的拼圖般…

作品中所描繪的世界，重疊著過去、現在、未來的各種樣貌，分解、構成、再分解、再構成而形成的集合體。藉著時空變化的化學反應，過去並不是只有老東西，未來也不是全都是新玩意。我認為最貼切的例子是軍艦島（端島），以炭坑聞名的端島，是當時的日本人口最密集，並且最新穎的家電產品及流行資訊全都聚集於此；隨著時代變遷、端島的炭坑隨著炭礦的需求減少而關閉。但端島現在依舊以一種特殊的姿態，持續地向眾人展示著未來的樣貌。我們的生活中如同端島般，強烈的連結著過去、現在和未來的事物，其實比比皆是。如果我的作品能夠讓觀者察覺的這些事物的話，對我來說就是最幸福的事情了。

The motif of my work is the human body. Not only the curves and shapes of the human body, but also the organs and cells and the mechanism of their composition serve as a reference for me in creating my works. Each cell forms an organ, and each organ composes a person. Each person becomes a group and forms a village, several villages become a town, and several towns become a city. Using silkscreen printing, a technique that allows for rapid reproduction, I have created through my work machines without names and cities without knowing where they are.

I make between 30 and 60 plates for a piece of work. For me, these plates are part and parcel of the work. I use the printmaking technique repeatedly, changing the angle of the plate or the color of the ink, and building up my world bit by bit, as if I were putting together a patchwork of pieces...

The world depicted in my works is an aggregate made of decomposition, composition, recomposition, and reconfiguration, overlaying all forms of the past, present, and future. Through the chemical reaction of changes in time and space, the past is not only the old, and the future is not only the new. The best example of this is Gunkanjima. Hashima Island, a former coal mine, boasted the highest population density in Japan at the time and was filled with the latest home appliances and fashions, but with the passage of time, the demand for coal mining decreased and the mine was closed. However, Hashima Island still continues to present the future in some form. There are many things in our lives that connect the past, present, and future in such a powerful way. If my work can make the viewer aware of these things, that would be the happiest thing for me.